



書家 加藤裕さん作 『久遠』

真宗高田派
賢隆山久遠寺
〒460-0007
名古屋市中区新栄1-4-6
Tel 052-241-5231
fax 052-241-5231
<http://kuonji.net>
Kenryuzan-kuonji@nifty.com

久遠寺住職の いま不思議ないのちを生きている!



梅雨も長く続き46年ぶりの皆既日食も見ることは叶いませんでしたが、時々青い空が白い雲の間に顔を覗かせています。雨は水をもたらし、作物を育ててくれます。春は春らしく、夏は夏らしく、秋は秋らしく、冬は冬らしくが自然の法則です。これが、日常の当たり前と思いますが、よくよく考えると大変有難いことでもあります。

一方、急速な経済成長も科学技術のお陰で生活を便利に豊かにしてくれました。けれども、何でも自分の思い通りになるといつ人間の軽薄な考えが、世界的不況に少しづつ繋がっているように感じます。夏は冷房、冬は暖房をつけ、自然界と離れ、人間の自らが作った環境に甘んじ、大自然のはたらきで生きているという本質を私たちは忘れていく気がしてなりません。春には桜が咲き散ります。秋には緑の葉が紅葉に変化し、また散っていきます。夏には蝉が長い間、土の中にいて数週間の短い間ですが、自分の責任を果たそうとします。また、犬をはじめ、動物たちも不平をいわず、自分らしく生き生涯を終えていきます。そして、人間も老い、病に臥し、やがて動植物と同じように、元々いた場所へ帰るわけです。しかし、人間は知性が妨げとなつて他の生物のように最期を迎えることができません。なぜなら、人間は自分の生き方が正しいんだと自らを肯定し、自分の都合で判断しているからです。親子関係、他人との関係においても自己を作り、本当の事実を言えないから、争いがいつまでも続くのでありましょう。そんな状況下の事実の言葉は力を与え、人をも傷つけることもあります。それでは、どうするべきなのでしょう。それは、相手の間違いを非難するのではなく、妥協するのでもなく、違いを認め聞くことによつて、違いの本質は何であるかを話しあうことだと思えます。私もあなたも

お互いが人間の痛み、悲しみがあるということをお互いに認め合うことが大切なのです。

私たちの命は、動植物と同じく何百万年も続いてきた命であります。善き人また祖父父母の言葉が、私の人生の光灯となつて、照らして下さっています。そして、その光灯が私を明るくし、進むべき方向を示して下さいます。進むべき方向とは、今あることを示して下さい、またはたらくとして、目には見えない、形もないけれども教えとして、我を頼め、必ず救つてやるぞ」と、名告つておられる南無阿彌陀仏という誓いなのです。例えば、亡き人の写真をみていろいろな状況が思い出され、あの時はこうだった、ああだったと言葉が思い出されます。それが亡き人からの願いであり、今与えられている命の不思議さを感じさせて下さるのです。目に見えない、形もないことが、自分を救つて下さる唯一のはたらきであることに気づかせて頂きましょう。

最後に、ヨメ福音書の冒頭を仏教的に訳したものをお伝えします。

この世に法(ダルマ)は「法性法身」と無関係に成り出たものは何一つない。法性法身に基ついて成り出たもの「方便法身」は命(無量寿)であつた。そして命は人を照らす光(無碍光)であつた。法性法身は「目には見えないが形もなく、はたらきとしての絶対の仏身、方便法身は、法性法身から形として現れ衆生を救う仏身、無量寿が絶えることなく続いていく命、無碍光智慧の光として、四方を照らし明るくして下さいます。」

以上のお言葉が命の尊さを数え、言葉によつて人間関係を明るくして下さいます。いつもありがとうございます、すみませんと言えようように心掛けたいものがあります。

久遠寺住職 高山元智 合掌



親鸞聖人

七月 信は願より生ずれば

念仏成仏 自然なり

法蔵菩薩は永い永い間修行され、迷い苦悩する人間を救わんが為、本当の願いは何であるかを問い続けました。そして本当の願いを成就するまでは、仏にならないと誓われました。

人間は良い暮らしをし、家族仲良くすることが、幸せと願っています。しかし、名誉地位 財産があったとしても、死すれば全て自分から離れていくものであり、空しさのみ残ります。その空しさによつて、私の本性が明らかになります。それこそ仏様のはたらきであり、形もなく色もなく、私の前に智慧の言葉として、近寄つて下さるのがお念仏なのです。

八月

大悲ものうまきことなす

つねに

わが身をてらすなり

『正信偈』の一句に、「大悲無倦常照我」とあります。大悲の悲は、悲しみをもに感ずること、切ない感情を表します。大がついた時は、仏の悲しみを表します。無倦はもうやめたとか、諦めがないことです。その諦めず悲しみをともにする仏の心が常照我（つねにわが身をてらすなり）なのです。

親の愛は、苦しみ悲しんでいゝる我が子を諦めることなく、許し、また愛し、常に照らす光となつて護つてくれています。菩薩はすべてのものが救われるまでは仏にならないと誓われ、いつも智慧の光を放つて下さっているのです。しかし、我々はそのことに気づかないです。願も届かない気でおります。そこに本当の安らぎはあるのでしょうか。

九月

撰取不捨の利益にて

無上覚をばさきなり

撰取の撰は、一度取りて永く捨てぬなり、ものの逃ぐるを追はへ取るなり、撰は収めとる、取は迎えとる。真宗聖典」と、あります。

無上覚」は、この上ない悟りと訳します。仏の心は、自分勝手に生き、自分の思いを充たすために、人を憎み、嫉む私は愚かであると気付かせ、目覚めさせようとして下さります。この仏の大きな心になれる時、いつも願われて、捨てずに待つていて下さるのです。これは、自分の考えに執着し、離れない私に対する救いの寛大なる名告りなのであります。



― ご案内 ―

八月二十八日(金) 午前十時より
二十九日(土) 午後十六時まで
※鑑賞無料

虫干

久遠寺蔵のお軸の展示を致します
ごゆるりと鑑賞くださいませ
賢隆山久遠寺

久遠寺は戦災で全焼致しました。しかし、第十八世住職 貞親上人が戦地の中を、久遠寺ご本尊 向弥陀様とともに守りぬかれた軸の数々が今になり出て参りました。

経年劣化の為、保存もしたく、虫干」を計画しました。このご縁に、是非皆様拝観して頂きたく願っております。貴重なものや価値のあるものはありませんが、仏法の宝物として、また古いものから何か感じれるものがあるれば幸いです。

残暑厳しい頃と予想されますが、是非皆様お揃いでのご来寺を心よりお待ちしております。

※拝観無料

※8月28、29日(金土)

両日ともに

午前10時～16時迄

仙教ツインズ

あなたはいくつ答えられる？！

◎親鸞聖人が生まれたとされる日は？

- 1 1月16日 2 4月8日
- 3 5月21日 4 11月28日

◎親鸞聖人の得度したご年齢は？

- 1 5歳 2 9歳 3 12歳
- 4 29歳 5 54歳

◎親鸞聖人の得度直後のお名前はどれ？

- 1 善鸞 2 善信 3 範宴
- 4 法然 5 綽空 6 松若丸

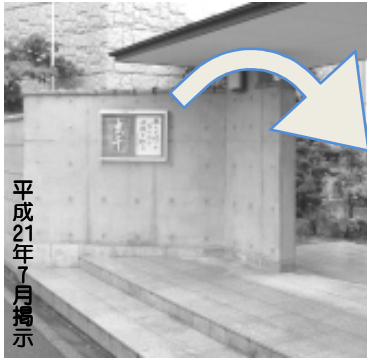
◎親鸞聖人は得度されて、比叡山に入られました。どれくらいの期間？

- 1 7年 2 10年 3 20年
- 4 30年 5 ずっと…

先号の答え(右から順に)

- 1-② 2-④ 3-① 4-④
- 5-③ 6-① 7-①

久遠寺の掲示板



平成21年7月掲示

**教えを聞いて
おのれの
分限を知る**

一九七四年法語カレンダー

寺の正門横に久遠寺掲示板が設置してあります。毎月二度ほど更新してありますが、最近通りすがりの方々にたびたび意味を聞かれるようになりまして、ここでは、法語の意味をお伝えしていきたいと思っております。

1974年、約30年程前の法語カレンダーからお借りしました。私たちは、何でもできる、何でも叶う、と思いがちの人生を歩んでいます。しかし、それが本当なのでしょうか。仏様の教えを聞かせて頂くと、自分自身が省みなければならぬ事実が教えられます。歩み寄って下さる尊い教えを、知らず聞かずと自ら壁を作らず、少し耳を傾けてみてはいかがでしょうか？

合掌

長編連載 「支え合い」

昭和区 久遠寺檀家の一員さん

人間・裸で生まれ、裸で帰ることでしょう。生老病死・四百四病を背負って人生を送るものですが、人生順運ばかりとは限らず、時には不測の事態に遭遇することもありません。生ある者は必ず好むと好まざるとに拘らず、死れが訪れましょう。夫婦は多論のこと、親族・友人も想いは一つ成ればこそ生ある内は、素直な心に自覚めることが一番大切な人づくりであり、自然を愛し自然の中に生き、逆境にも順境にも感謝の気持ちを持つことも大切です。さすれば、逆境も順境に変えることもできます。人生もマラソンと同じくゴールを目指して駆け進みますが、人によってはコース半ばで止むおえす挫折する場合があります。誰しも輝かしい未来を求めますが、人夫々の価値観があり、同一視することは出来ません。通院しておられますと、院内を消沈したお爺さんを車椅子に乗せ、気丈に介護しているお婆さんの姿をよく見受けられます。誠に強い絆で支えあっている姿に現代社会の一面を見る想いに涙腺が弛む思いです。何と申しましても若い人達には体力もあり気力もありません。そして未来もありません。が、車寄りには、樂觀的観測がたたない寂しい限りでしょう。…次号へ続く…

お盆て何？

お盆の正式名称は「盂蘭盆」といい、インド語のウランバナに漢字をはめたものです。「盂蘭盆経」の目連尊者の物語がよく話されることが多いようです。

お釈迦様の弟子であった神通力第一の目連様はある時こくなった母の様子を見てみました。すると、母は哀しい事に餓鬼道に墮ちていたそうです。優しくした母がなぜかと思いついたら母を救えるかをお釈迦様に尋ねました。するとお釈迦様は「目連よ、汝の母の罪は重く、一人の力では救うことはできない。救いたければ、大勢の僧侶を招き、百味の盆を供え供養しなさい」と。すると、母はたちまち救われ僧侶は皆揃って踊り歡喜したそうです。

一開山堂出版より

インド語のウランバナの意味は「倒懸」で逆さまに吊り下げられた苦しみとあります。しかし、お釈迦様の本当の真意は、目連様の考え自体が逆さまであり、少くく修行し供養しても母を救おうとする考えが間違いでであると云われています。実は母はすでに救われています。その母から人間の生死無常であることを母を通して教えられていくことが真意なのです。僧侶たちが踊り喜んだ「踊躍歡喜」というのが盆踊りの始まりと云われています。そして、真宗ではお盆を「歡喜会」と呼び、本当の教えに遇い喜ばしい法会のことを行います。親・先祖のご恩・教えから自らを省みる大切な時期であり致します。是非ご家族揃ってお参り致します。

合掌

URL <http://kuonji.net>

いよいよ久遠寺ホームページを開設する準備が整いました！仮開設は、8月1日より開始します。デザイン等修正を加えながら、9月1日には、正式に開設予定です。

現代社会において、インターネットは外せない存在となりました。そして、寺の在り方も多様性を極め、各々寺で様々な活動をしています。ここでひとつ、いま自今の寺はどんなだろう？とわかりやすくリアルタイムに知って頂くためにホームページの開設に至りました。今までの寺の在り方を変え



久遠寺ホームページTOPイラスト

ついに久遠寺のホームページ完成！

久遠寺ブログTOPイラスト



るのではなく、一歩前進と考え、進めていく所存であります。

今後、久遠寺で勤められていく行事、また寺の日常などをできる限り報告していきたいと思っております。是非皆様にはご覧頂き、また応援して頂けたら幸いです。

南无阿弥陀仏

※私、信雄が寺の日常や日々思うことなどブログ日記を綴っていきます。文章は苦手ですが、是非ご覧下さいね！

京都へ研修旅行へ行って参りました！

7月初めに、恒例の研修旅行へ行ってきました。場所は京都へ目的は現在、中日新聞連載中の『親鸞』に出てくる蓮西ゆかりの土地などをお参りしてきました。安楽寺法然院お墓など連載にてくる蓮西とは違う面を勉強してきました。承元の法難」と史実がありますが、当時の本当の内容はわかりません。しかし、そのことがあったからこそ、今私たちがお念仏の道におらしてもらえる事は間違いないと思えます。先人たちの教えは尊いものと、改めて振り返ることのできた研修でした。

南无阿弥陀仏

編集後記



久遠寺図書です！！

久遠寺本堂と庫裡の間に、本棚を設置致しました。宗教本を中心にいろいろと揃えました。今は空き箇所も多いですが、今後はもっと増冊していく予定です。法事の合間に見て頂いたり、来寺の際、借りて頂くこともできます。是非、ご活用下さいますようお願い申し上げます。

南无阿弥陀仏
衆徒 高山信雄



報恩講は10月17日(土)！！

お知らせ

◎お経本は床に置かないで下さい。

◎随時、皆様の寺報記事を募集しています。ご連絡ください。

今後の予定

10月17日	9月23日 午前8:30~	9月18日 午後1:30~	8月28・29日 午前10時~午後4時	8月10日 午前8:00~
報恩講	讚佛会 (秋彼岸) お墓参り	阿弥陀経に聞く 第31回法話会	虫干	歡喜会 (お盆) お墓参り
久遠寺本堂	平和公園	久遠寺本堂	久遠寺本堂・書院	平和公園

是非皆様お揃いでご参詣ください。